



LWB-24(A) / LWB-72(A)ファームウェア Ver.3.2.0 リリースノート

オタリテック株式会社

2025 年 3 月 24 日

LWB-24(A)/ LWB-72(A)* ファームウェア Ver.3.2.0*をリリースいたしました。Ver.3.1.1 からの主な変更内容は以下の通りです。特に記載のない場合、“修正された不具合”はファームウェア Ver.3.1.1 以前の全バージョンにて発生します(ただし、不具合に関連する機能が搭載されていないバージョンを除く)。

また、レガシー・モジュール(レガシーMADI モジュールのようにも使用)とは、LWB-16/64 用モジュールを LWB-24/72 でも使用できるようにアップデートしたモジュールを、2472 モジュール(2472 MADI モジュールのようにも使用)とは、LWB-24(A)/72(A)専用モジュールを指します。LwcV3 とは LWB-24/72 シリーズ専用のコメンタリー & コミュニケーション・システムをコントロール/モニターするウィンドウズ用アプリケーションです。

LWB-24(A)/72(A)* LWB-24/72 は非同期ビデオ出力非対応機、LWB-24A/ LWB-72A は非同期ビデオ出力対応機となります(LWB-16S/64S には LWB-24/72 のファームウェア、LWB-24/72 StandardEdition のメイン FPGA が適用されます)。

Ver.3.2.0* 当バージョンよりも古いファームウェアにおいては、LWB-24A/72A のバージョンは LWB-24/72 のバージョンから 2.0.0 を引いたバージョンとなっていました(LWB-24/72 で Ver.3.1.1 の場合、LWB-24A/72A では Ver.1.1.1)が、当バージョンより LWB-24/72、LWB-24A/72A 共通となりますのでご注意ください。

【重要】

- ・ LWB-24/72 ファームウェアを Ver.2.x.x(以前)から Ver.3.2.0 へバージョンアップする場合はメイン FPGA のバージョンアップとセットで行う必要があります(メイン FPGA は下記のバージョンにアップデートしてください)。
 - ◇ LWB-24/72 Standard Edition: メイン FPGA Ver. G
 - ◇ LWB-24/72 Extended Edition: メイン FPGA Ver. H
 - ◇ LWB-24A/72A: メイン FPGA Ver. A
- ・ 同 Ver.3.1.1 より前のバージョンからアップデートする場合は、同バージョン以前のリリースノートもご確認ください。

1 修正された不具合

1-1 レガシー・モジュールをホットプラグにて装着したとき、レベル LED 表示のリファレンスレベル設定が -20dBFS となる

備考: レベル LED が緑から黄に変わるレベルが異なただけで音声には影響ありません。また、リファレンスレベル設定が -20dBFS の場合、当該不具合は発生しません。LWB ファームウェア Ver.3.1.0 以降でのみ発生します。

1-2 LWB 本体起動時に未装着であった I/O モジュールをホットプラグにて装着したとき、ルーティング No.は表示されるが実際にはルーティングが復元されない

備考: 当該不具合は、LWB 本体の電源をオフしたときにルーティング設定のあった I/O モジュールを取り外して LWB 本体を再起動した場合に生じます。また、接続している中でユニット ID が最小の LWB においては発生しません。

1-3 レガシーMADI モジュールのチャンネルを選択した状態が、ERR./ESC.スイッチを押すかタイムアウトにより解除されたとき、あるいは選択チャンネルが他のモジュールに遷移したとき、7セグメント LED の表示がブロック ID 表示に切り替わらない

1-4 「グループ・ルーティング時の自動割付ルーティング No.」の設定中(ノブを回しているとき)、現在の設定値が正しく示されない

備考: 設定値の選択中に現在の設定値以外の値を表示しているときは、値の前に* (アスタリスク)が表示されますが、当該不具合においては、現在値にも* が付き、現在値-1 の値には* が付かない動作となります。

1-5 フィックスド MADI 入力に非同期の MADI 信号が入力されているとき、スリップ等のエラーが発生しないことがある

備考: LWB-24/72 ファームウェア Ver.3.2.0 では、非同期の MADI 信号が入力されると、スリップ(Slip)やフレーム(Frame)のエラーが発生します。また、このとき、フィックスド MADI の OPT または COAX インジケータは緑点滅となりますが、メイン FPGA が Ver. H (Extended Edition の場合)、または Ver. A (LWB-24A/72A の場合)(以降)ではないと、COAX インジケータは正しい表示をしない場合があります(MADI 音声には影響ありません)。

1-6 フィックスド GPI モジュールのルーティング初期化をディレクション設定の初期化と伴に実行(”Init Dir. too”を選択)すると、その後、自機以外の LWB ユニットのフィックスド GPI 入力チャンネルが使用していたルーティング No.を自機のフィックスド GPI 入力チャンネルに設定できなくなる

1-7 LWB-24A/72A におけるメイン FPGA の表示温度が実際よりも約 20℃低い

備考: 温度エラーは、本来発生するべき温度よりも約 20℃高くないと発生しない状態でした。

1-8 COMM.モジュール上で CB-186/187(コメンタリー・ボックス)の CH2(トーク/モニター・チャンネル)を選択しているとき、存在しないトーク・チャンネルのルーティング No.を設定することができる

備考: CB-186/187 はモニター・チャンネルが 2 つ、(バック)トーク・チャンネルが 1 つのため CH2 にはトーク・チャンネルがありません。

2 改良または追加された機能

2-1 以下の新規モジュールに対応

- ・ 2472MADI モジュール(CB-7FCA / 7FCB / 7FDA / 7FDB)
OPT チャンネル(光ファイバー接続)と COAX チャンネル(BNC 接続)とが独立(合計で入出力共に 128 チャンネル)し、サンプリング周波数 192kHz に対応した I/O モジュールです。
- ・ Dante モジュール(CB-7FJA / 7FKA)
Audinate 社が開発した伝送プロトコル Dante に対応した入出力共に 64 チャンネル(サンプリング周波数 48kHz 時)の I/O モジュールです(Dante は Audinate Pty Ltd の商標です)。
- ・ CWDM モジュール(CB-7FED / 7FEE / 7FEF / 7FEG / 7FEH / 7FEJ)
波長多重により、HD-SDI / 3G-SDI / 6G-SDI / 12G-SDI、ギガビット・イーサネット等を伝送するモジュール(工場オプション)です。

備考: 上記の新規モジュールを使用する場合、メイン FPGA を Ver. H(Expanded Edit.), Ver. G(Standard Edit.), または Ver. A(async)以降に、LwcV3 を Ver. 1.5.0 以降にバージョンアップする必要があります。

2-2 レガシーMADI モジュールの選択チャンネルの入出力を切り替える機能を追加

備考: レガシーMADI モジュールの任意のチャンネルが選択されているとき、MULTI スイッチを長押しすると選択チャンネルが IN の場合は OUT に、OUT の場合は IN に切り替わります。

2-3 可変ステップを 10 倍または 100 倍にしてルーティング No.を設定するときの動作を改良

備考: 例えば、既に No.1~64 が使用中であるときに、ステップを 10 倍としてルーティング No.設定のないチャンネルにルーティング No.を設定するとき、LWB-24/72 ファームウェア Ver.3.1.1 以前では、ノブを CW に回すと先ず 65 が、次に 75 が表示されます。一方、同 Ver.3.2.0 では、先ず 71 が、次に 81 が表示されます。

2-4 グループ No.の設定されている入力チャンネルのルーティング No.は削除できないように変更

備考: LWB-24/72 ファームウェア Ver.3.1.1 以前では、グループ No.の設定されている入力チャンネルのルーティング No.を削除すると、グループ・ルーティング時に自動的にルーティング No.を割り付ける機能にて、改めてルーティング No.が設定されます。

2-5 AES3 モジュールの入力エラー(Err002: AES3 Input)において、QCRC エラーを検出しないように変更

備考: LWB-24/72 ファームウェア Ver.3.1.1 以前において、レガシーAES3 モジュールでのみ QCRC エラーを検出していました。QCRC エラーは、直接、音声の異常を示すものではありません。

2-6 LWB-24A/72A のファームウェア・バージョンとエディションの表示に関する以下の変更

- ・ ファームウェアのメジャー・バージョン表示を、その機能が全て等しい(ハードウェアの違いに基づく機能は除く)場合は LWB-24/72 と同じとするように変更
- ・ エディション表示を "Async Edition" に変更

2-7 “Master(Mstr) / Slave” の表記を “Leader / Follower” に変更

以上